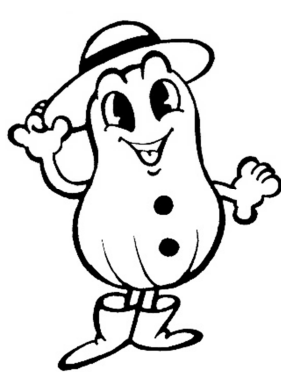


平成30年度

決算の状況

八街市のイメージキャラクター



ピーちゃん



ナツちゃん

八街市総務部財政課

目 次

1	一般会計の決算の概要	1
2	一般会計歳入決算の状況	2
3	一般会計歳出決算の状況	4
	(1) 目的別内訳	4
	(2) 性質別内訳	5
4	特別会計の決算の概要	6
	(1) 国民健康保険特別会計	6
	(2) 後期高齢者医療特別会計	6
	(3) 介護保険特別会計	6
	(4) 下水道事業特別会計	7
5	水道事業会計の決算の概要	7
6	市債の年度末現在高の状況	8

平成30年度決算の状況

(令和元年9月定例会議案第9号～第14号資料)

八街市総務部財政課

1 一般会計の決算の概要

平成30年度の一般会計決算は、市税等の歳入確保に努めるとともに、基本構想で定められた将来都市像「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」の実現に向け、「八街市総合計画2015」に位置づけした各施策を実施し、歳入が約221億1,997万4千円（前年度比4.5%の増）、歳出が約214億4,565万1千円（前年度比5.9%の増）となり、形式収支は約6億7,432万3千円（前年度比2億4,789万5千円の減）、実質収支は約6億2,401万7千円（前年度比2億542万3千円の減）となりました。

また、単年度収支は約△2億542万2千円、実質単年度収支は約△5億1,277万円となりました。

【平成30年度一般会計決算収支の状況】

(単位：千円)

区分	30年度 ①	29年度 ②	比較 ③=①-②	増減率% ③/②
歳入総額 A	22,119,974	21,177,182	942,792	4.5
歳出総額 B	21,445,651	20,254,964	1,190,687	5.9
歳入歳出差引 C = A - B	674,323	922,218	△247,895	/
翌年度へ繰り越すべき財源 D	50,306	92,778	△42,472	/
実質収支額 C - D	624,017	829,440	△205,423	/
実質収支額のうち地方自治法 233条の2の規定による基金繰入額	450,000	500,000	△50,000	/
単年度収支額	△205,422	△55,831	△149,591	/
実質単年度収支額	△512,770	△226,198	△286,572	/

(注) 各計数は表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しない場合があります。

2 一般会計歳入決算の状況

(単位：千円)

区 分	30年度		29年度		比較 ③=①-②	増減率% ③/②
	決算額①	構成比	決算額②	構成比		
市税	7,409,003	33.5	7,488,975	35.4	△79,972	△1.1
地方交付税	3,631,032	16.4	3,696,107	17.5	△65,075	△1.8
国県支出金	5,405,719	24.4	5,115,396	24.2	290,323	5.7
繰入金	374,446	1.7	272,356	1.3	102,090	37.5
うち財政調整基金繰入金	309,055	1.4	172,138	0.8	136,917	79.5
市債	2,124,100	9.6	1,572,800	7.4	551,300	35.1
うち臨時財政対策債	836,500	3.8	841,800	4.0	△5,300	△0.6
その他	3,175,674	14.4	3,031,548	14.3	144,126	4.8
合計	22,119,974	100.0	21,177,182	100.0	942,792	4.5

(注) 表示単位未満四捨五入のため、項目ごとの積み上げと合計が一致しない箇所があります。

- (1) 市税は、主に市民税（法人税割）や固定資産税（家屋）が減収となったため、前年度と比較して約7,997万2千円（1.1%）の減となりました。
- (2) 地方交付税は、普通交付税が前年度と比較して4,211万1千円（1.2%）の減、特別交付税が2,296万4千円（11.6%）の減となりました。
- (3) 国・県支出金は、前年度と比較して約2億9,032万3千円（5.7%）の増となりました。主な増減は、土木費国庫補助金が3億1,290万9千円（130.0%）の増、民生費国庫負担金が1億3,106万9千円（4.2%）の増、民生費国庫補助金が1億7,180万2千円（77.3%）の減となりました。
- (4) 繰入金は、前年度と比較して約1億209万円（37.5%）の増となりました。主な増減は、財政調整基金繰入金が1億3,691万7千円（79.5%）の増、応援寄附金によるまちづくり基金繰入金が約1,650万4千円（144.3%）の増、用排水路建設改良基金繰入金が約3,292万1千円（98.4%）の減、介護保険特別会計繰入金が約2,403万5千円（45.5%）の減となっています。
- (5) 市債は、総務債が2億430万円（4,346.8%）の増、土木債が1億9,350万円（31.4%）の増、教育債が1億1,360万円（265.4%）の増となったことなどにより、前年度と比較して5億5,130万円（35.1%）の増となりました。

【平成30年度 市税収入の状況】

(単位：千円)

区 分	30年度 ①	29年度 ②	比 較 ③=①-②	増減率% ③/②
市民税	3,635,989	3,661,837	△25,848	△0.7
個人	3,270,607	3,270,489	118	0.0
法人	365,382	391,348	△25,966	△6.6
固定資産税	2,856,983	2,909,561	△52,578	△1.8
家屋	1,450,890	1,524,323	△73,433	△4.8
その他	1,406,093	1,385,238	20,855	1.5
その他	916,031	917,577	△1,546	△0.2
合計	7,409,003	7,488,975	△79,972	△1.1

【平成30年度 地方交付税・臨時財政対策債の状況】

(単位：千円)

区 分	30年度 ①	29年度 ②	比 較 ③=①-②	増減率% ③/②
地方交付税	3,631,032	3,696,107	△65,075	△1.8
普通交付税	3,455,644	3,497,755	△42,111	△1.2
特別交付税	175,388	198,352	△22,964	△11.6
臨時財政対策債	836,500	841,800	△5,300	△0.6
合計（実質的な地方交付税）	4,467,532	4,537,907	△70,375	△1.6

3 一般会計歳出決算の状況

(1) 目的別内訳

(単位：千円)

区 分	30年度		29年度		比 較 ③=①-②	増減率% ③/②
	決算額①	構成比	決算額②	構成比		
議会費	209,960	1.0	205,128	1.0	4,832	2.4
総務費	2,258,160	10.5	1,946,896	9.6	311,264	16.0
民生費	8,918,481	41.6	8,778,552	43.3	139,929	1.6
衛生費	2,017,735	9.4	2,009,928	9.9	7,807	0.4
農林水産業費	252,337	1.2	329,367	1.6	△77,030	△23.4
商工費	123,522	0.6	124,940	0.6	△1,418	△1.1
土木費	2,400,853	11.2	1,808,834	8.9	592,019	32.7
消防費	1,334,501	6.2	1,286,984	6.4	47,517	3.7
教育費	2,048,616	9.6	1,823,432	9.0	225,184	12.3
公債費	1,881,486	8.8	1,940,903	9.6	△59,417	△3.1
その他	0	0.0	0	0.0	0	—
合計	21,445,651	100.0	20,254,964	100.0	1,190,687	5.9

(注) 各計数は表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しない場合があります。

- ① 議会費は、議員運営費の増(397万8千円)などにより、前年度と比較して約483万2千円(2.4%)の増となりました。
- ② 総務費は、庁舎耐震整備事業費の増(2億9,171万8千円)、応援寄附金によるまちづくり基金費の増(2,279万円)などにより、前年度と比較して約3億1,126万4千円(16.0%)の増となりました。
- ③ 民生費は、前年度と比較して約1億3,992万9千円(1.6%)の増となりました。主な増減は、保育園施設整備事業費の増(6,894万6千円)、障害者自立支援給付事業費の増(6,231万7千円)、生活保護費の増(5,743万9千円)、家庭的保育事業等運営委託事業費の増(3,109万2千円)、臨時福祉給付金給付事業費(明許繰越分)の減(△1億6,392万1千円)となっております。
- ④ 衛生費は、前年度と比較して約780万7千円(0.4%)の増となりました。主な増減は、上水道事業会計繰出事業費の増(3,217万9千円)、クリーンセンター・処分場管理運営費の増(2,423万3千円)、焼却炉維持修繕事業費の減(△6,674万6千円)となっております。
- ⑤ 農林水産業費は、前年度と比較して約7,703万円(23.4%)の減となりました。主な増減は、「輝け!ちばの園芸」次世代産地整備支援事業費の増(2,516万円)、経営体育成支援事業費の減(1億429万2千円)となっております。
- ⑥ 商工費は、前年度と比較して約141万8千円(1.1%)の減となりました。主な増減は、落花生まつり事業費の増(82万1千円)、中小企業金融対策費の減(△63万1千円)となっております。
- ⑦ 土木費は、前年度と比較して約5億9,201万9千円(32.7%)の増となりました。主な増減は、榎戸駅整備事業費の増(7億3,745万円)、道路整備事業費の増(1億2,018万2千円)、公園施設整備事業費の減(△2億8,508万円)となっております。
- ⑧ 消防費は、佐倉市八街市酒々井町消防組合費の増(4,852万8千円)などにより、前年度と比較して約4,751万7千円(3.7%)の増となりました。
- ⑨ 教育費は、小学校空調設備整備事業費の増(8,814万3千円)、スポーツプラザ整備事業費の増(4,549万1千円)、小学校施設整備事業費の増(2,882万円)、中央公民館整備事業費の増(2,868万9千円)などにより、前年度と比較して約2億2,518万4千円(12.3%)の増となりました。

(2) 性質別内訳

(単位：千円)

区 分	30年度		29年度		比較	
	決算額①	構成比	決算額②	構成比	③=①-②	③/②%
義務的経費	11,620,988	54.2	11,581,754	57.2	39,234	0.3
人件費	4,193,314	19.6	4,067,798	20.1	125,516	3.1
扶助費	5,546,188	25.9	5,573,053	27.5	△26,865	△0.5
公債費	1,881,486	8.8	1,940,903	9.6	△59,417	△3.1
投資的経費	2,462,023	11.5	1,461,617	7.2	1,000,406	68.4
普通建設事業費	2,462,023	11.5	1,461,617	7.2	1,000,406	68.4
災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	-
その他の経費	7,362,640	34.3	7,211,593	35.6	151,047	2.1
物件費	2,916,688	13.6	2,832,162	14.0	84,526	3.0
補助費等	2,089,244	9.7	1,987,532	9.8	101,712	5.1
積立金	47,325	0.2	35,986	0.2	11,339	31.5
繰出金	2,071,057	9.7	2,056,542	10.2	14,515	0.7
その他	238,326	1.1	299,371	1.5	△61,045	△20.4
合計	21,445,651	100.0	20,254,964	100.0	1,190,687	5.9

(注) 各計数は表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しない場合があります。

- ① 人件費は、職員数の増などにより、前年度と比較して約1億2,551万6千円(3.1%)の増となりました。
- ② 扶助費は、前年度と比較して約2,686万5千円(0.5%)の減となりました。主な増減の理由は、障害者自立支援給付事業費(約6,231万7千円)の増、生活保護費(約5,743万9千円)の増、臨時福祉給付金給付事業費(明許繰越分)(約1億6,392万1千円)の減などとなっております。
- ③ 公債費は、クリーンセンター建設事業債の減(約8,236万円)などにより、5,941万7千円(3.1%)の減となりました。
- ④ 普通建設事業費は、榎戸駅整備事業費(約7億3,745万円)の増、庁舎耐震整備事業費(約2億9,171万8千円)の増などにより、前年度と比較して約10億40万6千円(68.4%)の増となりました。
- ⑤ 物件費は、外国語指導助手事業費(約2,118万9千円)の増、クリーンセンター・処分場管理運営費(約2,423万3千円)の増、小学校教育振興費(約1,848万5千円)の増、広報費(約1,408万2千円)の増などにより約8,452万6千円(3.0%)の増となりました。
- ⑤ 補助費等は、佐倉市八街市酒々井町消防組合費(約4,852万7千円)の増、上水道事業会計繰出事業費(約3,217万9千円)の増などにより、前年度と比較して約1億171万2千円(5.1%)の増となりました。

4 特別会計の決算の概要

(1) 国民健康保険特別会計

(単位：千円)

区分	30年度 ①	29年度 ②	比較 ③=①-②	増減率% ③/②
歳入総額 A	8,718,680	10,394,887	△1,676,207	△16.1
歳出総額 B	8,454,774	10,365,622	△1,910,848	△18.4
歳入歳出差引額 C=A-B	263,905	29,265	234,640	
翌年度へ繰り越すべき財源 D	0	0	0	
実質収支額 C-D	263,905	29,265	234,640	
実質収支額のうち地方自治法 233条の2の規定による基金繰入額	79,170	8,770	70,400	

(注)各計数は表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しない場合があります。

(2) 後期高齢者医療特別会計

(単位：千円)

区分	30年度 ①	29年度 ②	比較 ③=①-②	増減率% ③/②
歳入総額 A	600,935	552,239	48,696	8.8
歳出総額 B	596,040	547,805	48,235	8.8
歳入歳出差引額 C=A-B	4,895	4,434	461	
翌年度へ繰り越すべき財源 D	0	0	0	
実質収支額 C-D	4,895	4,434	461	
実質収支額のうち地方自治法 233条の2の規定による基金繰入額	0	0	0	

(注)各計数は表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しない場合があります。

(3) 介護保険特別会計

(単位：千円)

区分	30年度 ①	29年度 ②	比較 ③=①-②	増減率% ③/②
歳入総額 A	4,464,236	4,574,958	△110,722	△2.4
歳出総額 B	4,358,153	4,481,948	△123,795	△2.8
歳入歳出差引額 C=A-B	106,083	93,010	13,073	
翌年度へ繰り越すべき財源 D	0	0	0	
実質収支額 C-D	106,083	93,010	13,073	
実質収支額のうち地方自治法 233条の2の規定による基金繰入額	0	0	0	

(注)各計数は表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しない場合があります。

(4) 下水道事業特別会計

(単位：千円)

区分	30年度 ①	29年度 ②	比較 ③=①-②	増減率% ③/②
歳入総額 A	777,872	779,797	△1,925	△0.2
歳出総額 B	724,813	719,599	5,214	0.7
歳入歳出差引額 C=A-B	53,059	60,198	△7,139	
翌年度へ繰り越すべき財源 D	135	50	85	
実質収支額 C-D	52,924	60,148	△7,224	
実質収支額のうち地方自治法 233条の2の規定による基金繰入額	0	0	0	

(注)各計数は表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しない場合があります。

5 水道事業会計の剰余金の処分及び決算の概要

○決算報告書(消費税等込み表示)

【収益的収入及び支出】

(単位：千円)

区分	30年度 ①	29年度 ②	比較 ③=①-②	増減率% ③/②
収益的収入	1,199,095	1,120,495	78,600	7.0
収益的支出	1,003,296	996,712	6,584	0.7

【資本的収入及び支出】

(単位：千円)

区分	30年度 ①	29年度 ②	比較 ③=①-②	増減率% ③/②
資本的収入	55,556	54,037	1,519	2.8
資本的支出	300,715	306,341	△5,626	△1.8

○剰余金処理計算書(案)(消費税等抜き表示)

(単位：千円)

項目	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
年度末残高	1,623,973	127,599	239,146
議会の議決による処分額	48,000	0	△239,146
資本金への組み入れ	48,000	0	△48,000
減債積立金の積立			△239,146
条例による処分額	0	0	0
処分後残高	1,671,973	127,599	(繰越欠損金) 0

(注)各計数は表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しない場合があります。

6 市債の年度末現在高の状況

(単位:千円)

区 分	平成29年度末 現在高 ①	平成30年度 発行額 ②	平成30年度元利償還額			平成30年度末 現在高①+②-③
			元金 ③	利子	計	
一般会計	17,174,704	2,124,100	1,767,032	114,454	1,881,486	17,531,772
下水道事業特別会計	4,356,245	146,800	287,524	64,097	351,621	4,215,522
水道事業会計	2,419,266	38,100	212,568	45,948	258,516	2,244,797
合 計	23,950,215	2,309,000	2,267,124	224,499	2,491,623	23,992,091

(注)各計数は表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しない場合があります。